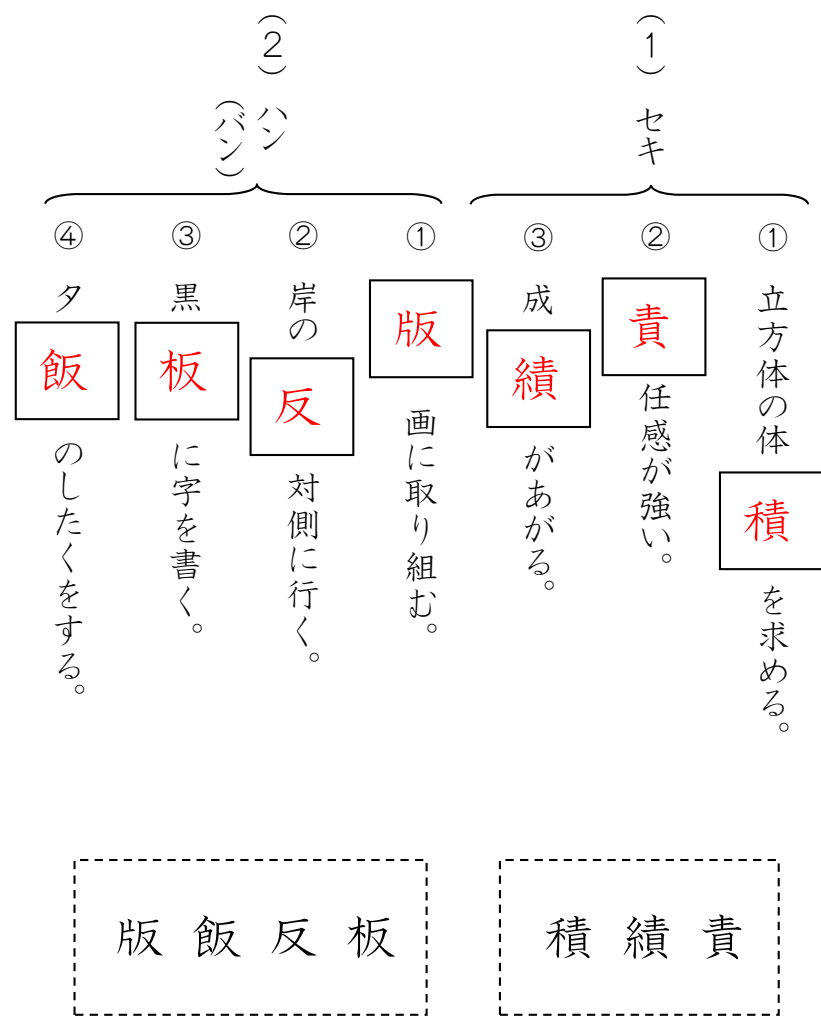


組 番	小学校六年生 *单元確認テスト* 一学期 ①	漢字の形と音・意味 <small>おん</small>
氏名		
		/ 10

一次の文の□に当てはまる漢字を、                    の中から選んで書きましよう。  
【各一点】



二次の【                    】の中の漢字は、                    の中にある同じ部分を加えると別の漢字になります。加える部分を                    の中から選んで                    に書きましよう。また、選んだ部分がそれぞれ表す意味を【                    】の中から選び、(                    )に記号で書きましよう。  
【完答 各一点】

- (1) 【永 毎 可 魚】+                      **シ** (                    )
- (2) 【扁 氏 吉 田】+                      **糸** (                    )
- (3) 【支 采 旨 受】+                      **扌** (                    )

扌 月 糸 シ

- ㊦ 手に関することを表す。
- ㊧ 水に関することを表す。
- ㊨ 糸や織物に関することを表す。
- ㊩ 体に関することを表す。

小学校六年生 *単元確認テスト* 一学期 ②		漢字の広場 1	
組 番	氏 名	/ 10	

一次の□の中の言葉を一回ずつ使って、ある町の出来事を記事にして町の人に伝えましょう。  
【各五点 教師判定】

(例)

文化財  
仏像  
保護

お寺では文化財である仏像を、どのよ  
うに保護していくかについて話していま  
す。

(1)

原因  
事故  
検証  
立ち入り禁止

町の中を通る道路で、わき見運転が原  
因の事故が起きました。現場検証のため、  
立ち入り禁止になっています。

(2)

県境  
河口  
水質  
調査

県の職員が、県境を流れる川の河口で、  
水質の調査をしました。

小学校六年生 *単元確認テスト* 一学期③		文の組み立て
組 番	氏 名	
/		10

一次の文の中の( )に、それぞれ適当な言葉を書き入れなさい。

【全部正解で二点】

日本語の文には、自由に語順を決められるところと、ふつうは定まっているところがあります。例えば、「今日」「来た」「私は」「自動車で」「学校に」という五つの言葉を並べかえて文を作る場合、「今日」「私は」「自動車で」「学校に」は、人によって置く場所がちがうかもしれません。

いっぽう、「来た」は最後に置いた人が多いのではないのでしょうか。このような文の( **述語** )に当たる言葉は、書き言葉ではふつう、文末に置きます。

二次の文の中の、主語と述語の関係にある言葉の組をそれぞれ二組見つけて、  
の中に書きなさい。

【各一組一点】

(1) 残雪が来たと知ると、大造じいさんは、今年こそはと、かねて考えておいた特別な方法に取りかかった。

残雪が 来た	大造じいさんは 取りかかった
--------	----------------

(2) じいさんがぬま地にすがたを現すと、大きな羽音とともに、ガンの大群が飛び立った。

じいさんが 現す	大群が 飛び立った
----------	-----------

三次の文を二つの文に分けて書き直し、同じ内容を  に表しましょう。

【各二点】

(1) かえるくんが書いたお手紙はとてもすてきな内容だった。

かえるくんがお手紙を書いた。そのお手紙はとてもすてきな内容だった。

(2) 僕が『中辛』を食べるのを知ったお父さんはうれしそうにうなずいた。

僕は『中辛』を食べる。それを知ったお父さんはうれしそうにうなずいた。